

▶13日 木曜

ルカ

3:21 さて、民がみなバプテスマを受けていたころ、イエスもバプテスマを受けられた。そして祈っておられると、天が開け、3:22 聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に降って来られた。すると、天から声がした。「あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。」

3:23 イエスは、働きを始められたとき、およそ三十歳で、ヨセフの子と考えられていた。ヨセフはエリの子で、さかのぼると、3:24 マタテ、レビ、メルキ、ヤンナイ、ヨセフ、

3:25 マタティア、アモス、ナホム、エスリ、ナガイ、

3:26 マハテ、マタティア、シメイ、ヨセク、ユダ、

3:27 ヨハナン、レサ、ゼルバベル、シエアルティエル、ネリ、

3:28 メルキ、アディ、コサム、エルマダム、エル、

3:29 ヨシュア、エリエゼル、ヨリム、マタテ、レビ、

3:30 シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、エルヤキム、

3:31 メレア、メンナ、マタタ、ナタン、ダビデ、

3:32 エッサイ、オベデ、ボアズ、サラ、ナフシヨン、

3:33 アミナダブ、アデミン、アルニ、ヘツロン、ペレツ、ユダ、

3:34 ヤコブ、イサク、アブラハム、テラ、ナホル、

3:35 セルグ、レウ、ペレグ、エベル、シェラ、



3:36 ケナン、アルパクシャデ、セム、ノア、レメク、

3:37 メトシエラ、エノク、ヤレデ、マハラルエル、ケナン、

3:38 エノシュ、セツ、アダム、そして神に至る。

イエス様は罪のない方なのに、罪ある身の立場を取られて、悔い改めのバプテスマをお受けになりました。イエス様を信じて従う者も、同じように不利な立場に置かれることがあります。それをも主のためであるなら、甘んじて受けることは、イエス様と同じ扱いを向けることであり、光栄なことなのです。

私たちは時には立場が悪くなるような状況があります。そのようなとき、自分の弁解をするよりも、イエス様の御思いを知ることは、喜びではないでしょうか。御父は「あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。」と教えてください。

ルカの系図により、イエス様王の子孫であることがわかります。さらには遡って、アダムの子であることが記されていますが、これは神であるイエス様が同時に全き人間であったことを表しています。

イスラエルの王として生まれた方が、同時に全人類の罪を身代わりにならされた人であるというのは、このように歴史に現れた神様のご意思であったのです。歴史の主権者である主の前にひれ伏すと共に、その主権によって救われたことを思い、感謝と信頼で従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

